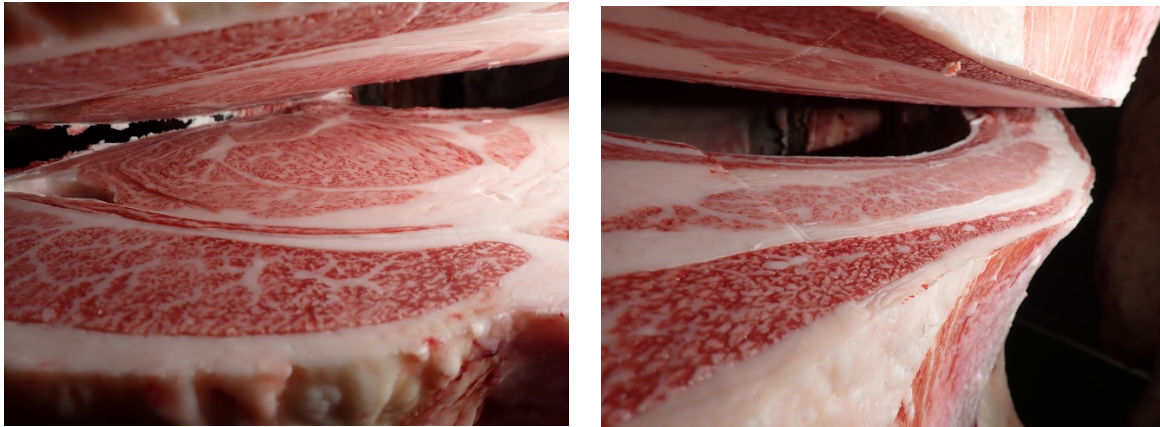


「美津洋」枝肉情報（母体は長崎県有種雄牛「晴久」）

長崎県有但馬系種雄牛の「美津洋」号について、令和4年に入り一般肥育の出荷が始まっています。今回、1～3代祖が長崎県有種雄牛という枝肉の情報を入手しましたのでご紹介します。

血統は「美津洋 晴久 金太郎3」で、BMSナンバーは12、枝肉重量は但馬系ながら500kgを優に超えており、ロース芯面積は81cm²、皮下脂肪は1.9cmと薄く、見応えのある枝肉となっています。

【枝肉写真と成績】



性別	1代祖	2代祖	3代祖	枝肉重量	ロース芯面積	バラの厚さ	皮下脂肪の厚さ	歩留基準値	BMS.No.
去勢	美津洋	晴久	金太郎3	546.1	81	9.1	1.5	77.9	12

美津洋の枝肉は全般的に、県平均と比べてロース芯面積が大きく、歩留基準値やBMS.No.が高い成績となっています。今回の枝肉もその傾向が伺えますが、さらに2代祖「晴久」、3代祖「金太郎3」の能力を受け継いだような枝肉という印象を受けました。

【美津洋産子の枝肉成績（令和4年次出荷分）】

	頭数	枝肉重量 (kg)	ロース芯面積 (cm ²)	バラの厚さ (cm)	皮下脂肪厚 (cm)	歩留基準値	BMS.No.	上物率 (%)
去勢	29	491.9	71.9	7.9	2.5	75.6	9.4	93.1
めす	12	454.6	65.7	7.6	2.8	74.8	7.9	91.7
県平均	去勢	515.3	65.9	8.4	2.5	74.9	8.3	92.2
	めす	449.9	62.5	8.0	3.0	74.5	7.2	82.6

県平均:令和3年次長崎県産産子の肥育成績平均値

長崎県肉用牛改良センターでは、引き続き「長崎和牛」の効率的生産と高品質化によるブランド確立に向け、優良種雄牛の造成に取り組んでまいります。